

一般国道2号 神戸三宮駅交通ターミナル整備事業 ～事業進捗状況とコスト増加に係る有識者意見～

令和7年12月
国土交通省

事業進捗状況とコスト増加に係る有識者意見

国土交通省では、「一般国道2号 神戸三宮駅交通ターミナル整備事業」のコスト増加が見込まれることについて、令和7年12月15日～12月18日にかけて「国道2号等 神戸三宮駅前空間整備事業計画検討会」の有識者にご意見を伺いました。

頂いたご意見を踏まえ、今後も事業を推進して参ります。

「国道2号等 神戸三宮駅前空間整備事業計画検討会」有識者メンバー

神戸大学 名誉教授 小谷^{おだに}通泰^{みちやす}

神戸大学 名誉教授 正司^{しょうじ}健一^{けんいち}

東京大学大学院 工学系研究科 教授 羽藤^{はとう}英二^{えいじ}

東京大学大学院 工学系研究科 教授 井料^{いりょう}隆雅^{たかまさ}

京都大学 防災研究所 特定教授 松島^{まつしま}格也^{かくや}

<有識者のご意見>

- 本事業は、再開発ビルの中に新たなバスターミナルを建設する、またコンセッション方式によりバスターミナルの運営を行うなど、全国的にも先進的な事例であるとともに、三宮駅周辺の再整備事業との相乗効果も期待できる非常に意義のある重要な事業である。
- コスト増加の大半を資機材費および労務費の増額が占めており、昨今の経済情勢を鑑みれば増額規模も妥当である。なお、引き続き、しっかりとコスト管理を行うことが重要と考える。
- 早期に整備効果が発現するよう、神戸市を始めとする関係機関と十分に連携しながら事業を推進されたい。